



## 新機能および変更された機能に関する情報

- [Cisco DNA Assurance の新機能および変更された機能 \(1 ページ\)](#)

### Cisco DNA Assurance の新機能および変更された機能

『Cisco DNA Assurance User Guide, Release 2.3.4』に記載された新機能と機能変更の概要を次の表に示します。

機能	説明
サイト分析	<p>構成されたパフォーマンスのしきい値を満たさないサイトの KPI 統計を表示できます。</p> <p><a href="#">企業の全体的な健全性のモニターとトラブルシューティング</a>および<a href="#">サイト分析</a>を使用したネットワークのモニターとトラブルシューティングを参照してください。</p>
MS Teams アプリケーション	<p><b>MS Teams</b> アプリケーションの正常性をモニターおよびトラブルシューティングできます。</p> <p><a href="#">Microsoft Teams アプリケーションの正常性のモニターとトラブルシューティング</a>、<a href="#">すべてのアプリケーションの健全性のモニター</a>、および<a href="#">クライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング</a>を参照してください。</p>
新しい AP 切断の問題	<p>新しいグローバル AP 切断の問題が導入されました。同じスイッチで発生する AP 切断の問題は、影響を受ける AP のリストとともに集約され、1つの問題として提起されます。新しく集約された AP 切断の問題は、[Device 360] ウィンドウとグローバルダッシュボードの両方に記録されます。</p> <p>以前の AP 切断の問題は引き続き記録されます。ただし、これはグローバルな [Issue] ダッシュボードではなく、[Device 360] ウィンドウにのみ表示されます。</p> <p><a href="#">AP 切断の問題についての [Issue Instance Details]</a>を参照してください。</p>

機能	説明
組み込み型 シスコ ワイヤレス コントローラ の新規チャート	<p>[Device 360] ウィンドウ組み込みの ワイヤレスコントローラ の多数の新規チャートを選択して表示できます。新規チャートには、電波品質、チャンネル使用率、合計フレームエラー数などの KPI が含まれています。</p> <p><a href="#">デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング</a>を参照してください。</p>
AP の RF チャート	<p>[Device 360] ウィンドウで、AP の RF チャートを選択して表示できます。新規チャートには、スループットやクライアント数、チャンネル使用率、クライアント/パケット数別の上位 SSID などの KPI が含まれます。</p> <p><a href="#">デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング</a>を参照してください。</p>
組み込み型 シスコ ワイヤレス コントローラ の新規グローバルクライアント数	<p>組み込み型 ワイヤレスコントローラ の [Device 360] ウィンドウで、クライアント数チャートには次の新しい数が表示されます。</p> <p><b>Anchor entries</b> : 最近別の ワイヤレスコントローラ にローミングしたクライアントの数。クライアントは既に、このデータを報告している ワイヤレスコントローラ に接続されていません。</p> <p><b>Foreign entries</b> : 最近 ワイヤレスコントローラ にローミングしたクライアントの数。このデータを報告している ワイヤレスコントローラ に接続されているクライアントは、現在接続されていない可能性があります。</p> <p><b>Local entries</b> : 現在 ワイヤレスコントローラ に接続しているクライアントの数。</p> <p><b>Idle State entries</b> : 一時的なアイドル状態にあるクライアントの数。</p>
新しい BGP ダウンの問題	<p>ルーター、コア、流通、アクセスの問題に、新しい BGP ダウンの問題が追加されました。BGP ダウンの問題は、BGP 接続がそのネイバーとダウンしているときにトリガーされます。発行トリガー条件は、最長 10 分間に変更できます。</p> <p><a href="#">コア層、ディストリビューション層、およびアクセス層に関する問題</a>および<a href="#">ルータの問題</a>を参照してください。</p>
自動問題解決	<p>このリリースでは、システムは次の問題タイプの問題を自動的に解決します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スイッチ電源の障害</li> <li>• スイッチファンの障害</li> </ul> <p><a href="#">自動問題解決</a>を参照してください。</p>
エンドポイントイベント	<p>アシュアランス の [Events] ダッシュボードは、エンドポイントのよりコンテキストに応じたビューを提供します。イベントに関連する他のデバイスに接続されているエンドポイントによってトリガーされたイベントを検索する代わりに、アシュアランス がこれらの詳細を提供します。</p> <p><a href="#">イベントの表示と管理</a>を参照してください。</p>

機能	説明
クライアントダッシュボードの強化	<p>アシュアランス [Client] ダッシュボードでは、[Client Devices] ダッシュレットの [Excluded Clients] オプションを使用して、特定のシスコワイヤレスコントローラのクライアントを除外できます。</p> <p>[Client 360] ウィンドウで、[Client Details] の [Device Info] タブにある [Excluded] ステータスのハイパーリンクを使用して、特定のワイヤレスコントローラデバイスを除外できます。</p> <p>すべてのクライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング、除外クライアントの設定、およびクライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティングを参照してください。</p>
PoE 電力使用量ダッシュレットの強化	<p>アシュアランス [PoE] ダッシュボードの、[Allocation] ビューと [Consumption] ビューで、電力使用量ダッシュレットが強化されました。最新およびトレンドのタブには、選択したビューに基づき、デバイスの消費電力と割り当てデータが表示されます。</p> <p>ネットワーク内の PoE 対応デバイスの監視を参照してください。</p>
ファブリック用クライアント 360 の機能強化	<p>このリリースでは、クライアントデバイスの詳細に、セキュリティグループ（タグ値）やブリッジモード（仮想マシン）などのファブリック属性が含まれます。</p> <p>すべてのクライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティングおよびクライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティングを参照してください。</p>
Cisco AI Network Analytics：ネットワークヒートマップの機能強化	<p>このリリースでは、スイッチのネットワークヒートマップを生成できます。KPI と特定のスイッチファミリに基づいてヒートマップデータをフィルタリングして、直接比較することができます。</p> <p>スイッチでは、次の温度 KPI がサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 温度：すべてのセンサー</li> <li>• 温度：コア</li> <li>• 温度：ホットスポット</li> <li>• 温度：入口</li> <li>• 温度：出口</li> </ul> <p>ネットワークヒートマップでのアクセスポイントおよびスイッチの比較を参照してください。</p>
6-GHz 無線帯域サポート	<p>6 GHz 無線帯域サポートが拡張 RRM ダッシュボードに追加されました。</p> <p>拡張 RRM ダッシュボードを使用した RF ネットワークの表示を参照してください。</p>

機能	説明
RF シミュレータ	<p>AI RF シミュレータを使用して、現在の RF プロファイル構成への変更をシミュレートし、[Enhanced RRM] ダッシュボードの拡張 RRM ダッシュレットに対して予測される結果を視覚化できます。</p> <p><a href="#">拡張 RRM ダッシュボードを使用した RF ネットワークの表示</a>を参照してください。</p>

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。